

生涯學習

学びの成果が発揮される生涯学習の推進

1 生涯を通した多様な学習機会の充実

(1) 草加市社会教育委員

社会教育の助言機関として、草加市教育振興基本計画の進捗状況の検証、生涯学習が直面する諸問題について協議し、草加市としてふさわしい生涯学習社会の構築を図ります。

(2) 生涯学習情報提供サイトの運用

学習情報の収集・提供、講座や教室への参加申し込み、指導者やサークルの活動紹介及び学習相談などの機能を持ち、市全域にわたる生涯学習情報を検索できるインターネット上のサイトを運用し、市民の活用を進めます。

(3) 指導者バンクの活用

生涯学習の各分野において専門的な知識や経験、技能等のある人を生涯学習指導者として発掘、登録し、その情報の提供及び活用を図ります。

指導者バンク制度の周知及び指導者の活動の場を広げるために、生涯学習体験講座を開催します。

指導者バンク

年度	登録者数	体験講座数
H30	83 人	38 回
R1	84 人	45 回
R2	89 人	22 回

(4) 生涯学習情報紙等の発行

市民への生涯学習情報発信のため、生涯学習情報紙『マイ・ステージ』を毎年度発行するとともに、市内で活動しているサークルの情報をまとめたガイドブックを隔年度で発行します。

(5) そうか市民大学の充実

建学の精神「学びを通してのきずな形成」のもと、「自分をつくる・人と出会う・まちをつくる」ことを目的とし、市民との協働による生涯学習社会の構築のため、市民大学推進委員会とともに講座の企画・運営を行います。

(6) 大学公開講座への支援

獨協大学オープンカレッジ及び上野学園大学短期大学部の公開講座を支援します。

(7) 社会教育関係団体の育成

生涯学習の分野ごとに活動する社会教育関係団体の登録や活動支援を行います。

社会教育関係団体

年度	登録団体数
H30	420 団体
R1	407 団体
R2	392 団体

(8) 新成人のつどいの開催

社会を担う成人としての自覚と自立を促すとともに、ふるさと意識を高め、地域貢献の心を育む機会として、新成人のつどいを開催します。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とし、無観客で式典の様子をライブ配信しました。

(9) 子ども大学そうかの開校

子どもの学ぶ力や生きる力を育み、地域で子どもを育てる仕組みをつくるため、獨協大学との共催により開校します。身近なテーマについて、大学教授や専門家が楽しく、分かりやすく講義します。

(10) 平成塾の管理運営

地域の高年者のふれあいや生きがい、共同学習の場として、また、地域の子どもたちとの世代間交流の場として、平成塾の活動を支援しました。

なお、令和3年6月に開催を予定していた、第24回平成塾合同発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

(11) 栄小学校一般開放施設の管理

栄小学校一般開放施設について、施設の適正な維持・管理を図ります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年4月28日から6月30日までは利用時間を午後8時までとし、かつ一部の利用を制限しました。

2 公民館・文化センターの整備と生涯学習環境の充実

市内公民館・文化センターについて、施設の適正な管理・維持を図るとともに、事業の充実に努めます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年4月1日から4月27日までは利用時間を午後9時まで、4月28日から6月30日までは利用時間を午後8時までとし、かつ一部の利用を制限しました。

さらに、令和3年度の各公民館・文化センターまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な取組の推進

1 文化財の保存・活用

貴重な文化遺産を郷土の文化財として保存・活用するために、指定文化財のパトロールや資料の整理、埋蔵文化財包蔵地の管理を行います。

また、市内小学校1年生への『草加お宝かるた』の配付や、小・中学校で『「草加を学ぶ」教育』として「草加松原」や「おくのほそ道」を取り上げた授業が行われるよう、「草加松原」を題材にした資料を作成し、子どもたちの郷土に対する愛着と誇りの醸成を図ります。

2 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関して審議するとともに、必要と認める事項を建議します。

3 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用

『国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画』に基づき、末永く草加松原の景観の保存活用が図られるよう体制整備に努めます。

また、保存活用を図るために策定した『国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」整備基本計画』に基づき、草加松原のもつ本質的価値を損なわないよう努めます。

生涯学習施設の紹介

○公民館

〔中央公民館〕

開館年月：昭和41年7月

(昭和56年10月移転)

所在地：草加市住吉二丁目9番1号

電話番号：922-5344

FAX番号：925-0152

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 4,497.91m²

敷地面積 6,220.10m²

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	415	第2体育室	84
第1会議室	46	視聴覚室	60
第2会議室	24	美術工芸室	20
第3会議室	26	第1講座室	54
クラブ室	18	第2講座室	37
調理室	40	図書室	—
和室研修室	35	ギャラリー	—
第1体育室	167		

令和3年度主要事業：伝統文化教室、土曜事業、子ども体験教室、にじいろタイム、文学講座、SKT高年者健康リズム体操、チャレンジ！シニア講座、青少年コンサート、ムーンライトコンサート ほか

〔柿木公民館〕

開館年月：昭和44年5月

(平成14年9月移転)

所在地：草加市柿木町1263番地

電話番号：931-3117

FAX番号：933-2501

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 970.27m²

敷地面積 1,976.28m²

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	130	和室会議室	20
調理実習室	20	会議室	30
実習室	24	図書室・学習室	—

令和3年度主要事業：県民の日柿木なんでも知って見隊ジュニア、子ども自遊空間、子ども文化講座、子ども体験講座、自然観察教室、親子で元気ルーム、高年者の元気ルーム、成人文化講座、柿木の芸術家たち展、はつらつ元気健康体操教室 ほか

〔谷塚文化センター〕

開館年月：昭和52年1月

(平成19年4月移転)

所在地：草加市谷塚仲町440番地

電話番号：928-6271

FAX番号：928-6272

構造・面積：鉄筋コンクリート造4階建

延床面積 2,330m²

敷地面積 18,756m²

(敷地面積は、谷塚小学校、谷塚児童クラブを含む)

令和3年度主要事業：少年少女発明教室、星空観察教室、県民の日体験事業、すくすくクラブ、大人の体験講座、高年者学級「コスモス」、はつらつ元気体操教室、シニアチャレンジ、歌声のつどい ほか

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
相談室	20	第1楽屋	12
第1学習室	60	第2楽屋	6
第2学習室	50	中会議室	30
実習室	45	小会議室	20
第1和室	35	家庭科室	45
第2和室	25	図書室	—
ホール	300	託児室	—

(家庭科室、図書室は小学校との共用施設)

〔川柳文化センター〕

開館年月：昭和55年4月

所在地：草加市青柳六丁目45番17号

電話番号：936-4088

FAX番号：930-1509

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 1,359.23m²

敷地面積 3,301m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
体育室	200	和室研修室	30
クラブ室	20	調理室	30
視聴覚室	30	図書室 学習室	—
会議室	50		
実習室	30	託児室	—

令和3年度主要事業：子ども収穫体験講

座、半世紀交流会、成人体験講座、公民館ボランティア講座、伝統食の講座、川柳講座「ぬくとぼこ」、はつらつ元気体操教室、音楽と文化のまちづくり教室、川柳音楽会 ほか

〔新田西文化センター〕

開館年月：平成22年4月

所在地：草加市清門三丁目49番地1

電話番号：942-0778

FAX番号：946-1508

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1,225.48m²

敷地面積 2,136.79m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	200	和室	20
第1会議室	24	調理室	24
第2会議室	36	図書コーナー	—
第3会議室	54	託児室	—
実習室	24	準備室	—

令和3年度主要事業：子どもサマーランド、放課後クラブ、県民の日体験事業、謎解きゲーム、家庭教育学級、高年者学級「笑いのつどい」、高年者のびのびサロン ほか

〔新里文化センター〕

開館年月：平成26年4月

所在地：草加市新里町983番地

電話番号：927-3362

FAX番号：920-1504

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1,373.48m²

敷地面積 2,373.38m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	193	和室	24
第1会議室	24	調理室	30
第2会議室	45	図書・学習室	—
第3会議室	40	託児室	—
実習室	24	準備室	—

令和3年度主要事業：教養文化講座、のびのび広場、すくすくクラブ、高年者学級、はつらつ元気体操教室 ほか

○博物館類似施設

〔歴史民俗資料館〕

開館年月：昭和５８年１１月

所在地：草加市住吉一丁目１１番２９号

電話番号：９２２－０４０２

FAX番号：９２２－１１１７

構造・面積：鉄筋コンクリート造２階建

延床面積 696m²

敷地面積 766.18m²

資料収蔵数 3,014点（令和２年度末）

来館者数の推移

年度	人 数
H30	15,225 人
R 1	13,047 人
R 2	6,851 人

令和３年度企画展示：「端午の節句展」、「きて、みて、感じて 草加の歴史-遺跡から見る草加-」、「火消の歴史-草加八潮消防局へのあゆみ-」、「桃の節句展」

令和３年度子ども向け体験事業：「七夕かざり」、「土器を調べる」、「竹風車・竹水鉄砲」、「藍染め」、「昔の道具」、「まが玉作り」、「和風作り」、「昔遊び」、「ひなかざり」

郷土の歴史資料や民俗資料などを収集・保管、調査・研究、展示・公開することにより、教育・学術・文化の発展に寄与することを目的とし、昭和５８年１１月に開館しました。

建物は、大正１５年（１９２６年）に県下初の鉄筋コンクリート造校舎として建設された草加小学校西校舎を改修したものです。耐震・耐火に優れ、また、屋上にドッジボールなどをして遊べるスペースが設けられるなど、建設当時としては大変近代的な建造物でした。平成２０年１０月には、「造形の規範となっている」建造物であることが認められ、国の登録有形文化財に登録となりました。

令和元年１１月１３日には来館者３０万人を達成し、令和２年度末現在は、累計来館者数が３１万２，５９７人となりました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和２年３月４日から令和２年６月１５日まで臨時休館となりました。

草加市立中央図書館

開館年月：平成12年4月1日

所在地：草加市松原一丁目1番9号

電話番号：946-3000

FAX番号：944-3800

構造・面積：鉄骨・鉄筋コンクリート造地上5階建

専有面積 4,803.54 m²

【令和3年度 図書館運営方針】

中央図書館では、学校や関係諸機関、読書に携わる市民ボランティアと連携して、子どもと本が会う機会を増やすとともに、草加市子ども読書活動推進計画や誰もが使いやすい読書環境の整備を積極的に推進します。

また、図書館が持つ機能のまちづくりへの活用や「新しい生活様式」への対応など市民ニーズや社会環境の変化に合わせた図書館サービスの検証や見直し等、新たな図書館の在り方についての検討を進めます。

【令和3年度 実施内容】

令和3年度図書館運営方針を踏まえ、次のとおり図書館を運営してまいります。

- 1 ユニバーサルデザインに配慮した電子図書館の充実や児童書に重点を置いた魅力ある蔵書を整備するとともに、公民館図書室等とのネットワークの活用により、図書資料等を効果的・効率的に提供します。
- 2 郷土資料の充実、草加にゆかりのある資料の収集、人権及び平和に関する資料の充実を図ります。
- 3 市民の生活課題の解決や身近な調べ物の相談窓口となるレファレンスサービスの利用を促進し、調べ物に役立つ図書資料等をわかりやすく紹介するパスファインダーやレファレンス事例等の情報を発信します。
- 4 いつでもどこからでも利用可能な電子図書館の充実を図り、視覚障がい者等に音声読み上げや文字拡大機能付きの電子書籍を提供するとともに図書館に来館が難しい方の利用促進を図ります。
- 5 学校及び読書に携わる市民や団体と連携して子ども読書活動推進に資する取組を行います。
- 6 子どもと保護者を対象としたアンケート調査を実施し、子ども読書活動推進計画の成果指標の中間確認を行うとともに次期計画策定の基礎資料として取りまとめます。
- 7 主催事業や行政情報等をより分かりやすく案内するため、デジタルサイネージ（広告付電子案内板）を導入します。
- 8 安全かつ快適な利用環境を提供するため、排煙窓の修繕に係る調査及びエレベーター巻上機の綱車、調速機ロープ等の交換修繕を行います。

【令和２年度利用状況】

１ 入館者数・登録者数

(単位：人)

開館日数	入館者数			登録者数			
	一般室	児童室	合計	一般	学生	児童	合計
243	148,532	24,920	173,452	162,219	24,935	11,838	198,992

※ 空調設備等改修工事に伴う臨時休館

・令和２年４月１日から５月３１日まで

※ 空調設備等改修工事後のリニューアルオープンに向けた準備に伴う臨時休館

・令和２年７月２７日から８月３日まで

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、施設の利用制限及び予約を受けた資料の貸出・返却の実施

・令和３年１月４日から３月２１日まで

２ 場所別・資料種別蔵書数

(単位：点)

区分	図書			雑誌	ＡＶ資料					電子書籍	合計
	一般書	児童書	小計		ＣＤ	カセット	VHS	DVD	小計		
中央図書館	379,604	77,329	456,933	14,029	9,470	4	98	2,031	11,603	—	482,565
公民館・文化センター	18,831	20,113	38,944	177	—	—	—	—	—	—	39,121
地域開放型図書室・サービスコーナー	14,155	64,508	78,663	—	—	—	—	—	—	—	78,663
草加市電子図書館	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,334	2,334
合 計	412,590	161,950	574,540	14,206	9,470	4	98	2,031	11,603	2,334	602,683

３ 貸出数

(単位：点)

中央図書館					公民館・文化センター	地域開放型図書室	サービスコーナー	草加市電子図書館(電子書籍)	合計
一般書	児童書	雑誌	ＡＶ資料	計					
236,546	102,671	13,030	12,691	364,938	89,496	8,158	117,029	16,469	596,090

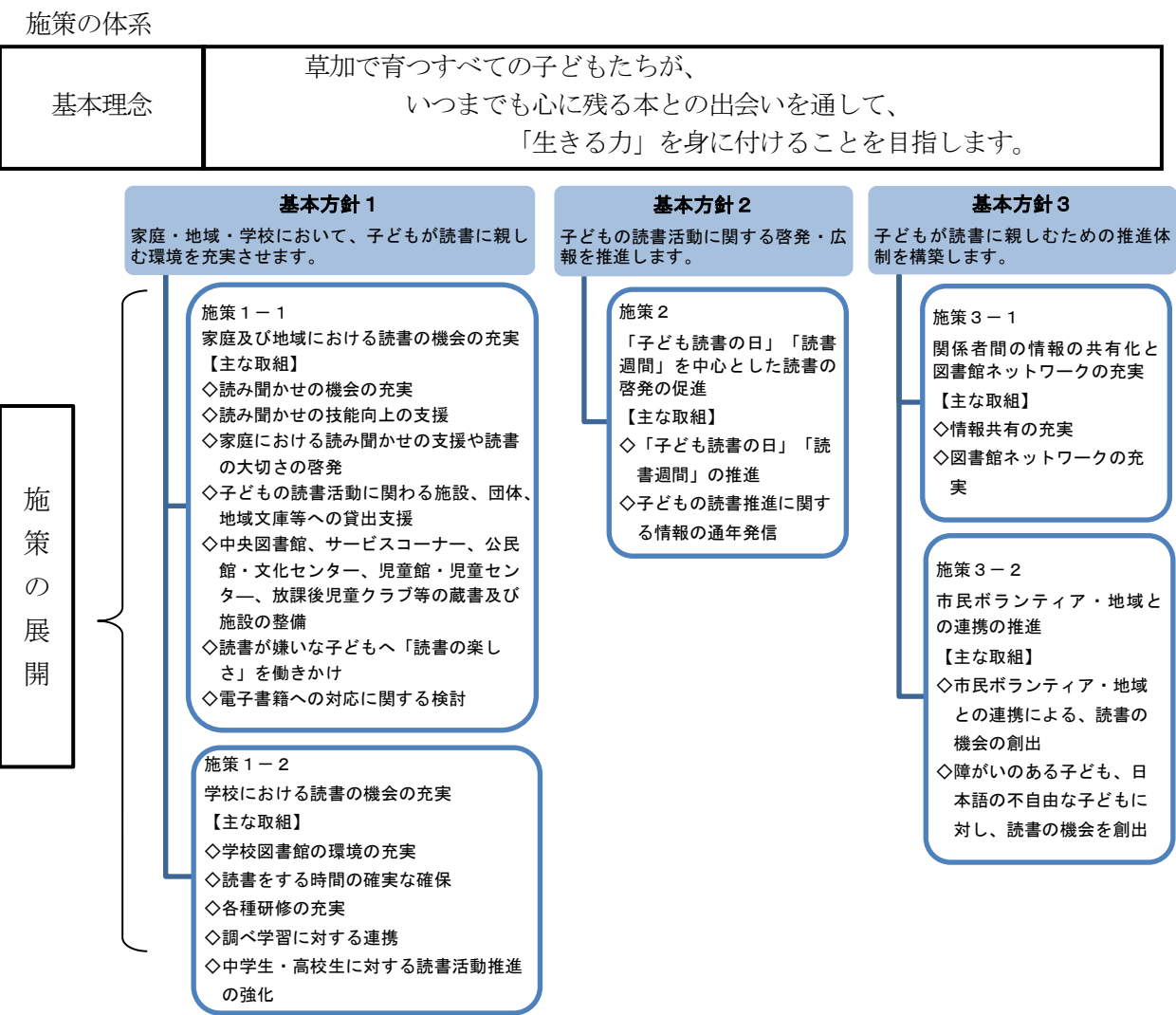
４ 館内設備等利用状況

(単位：件)

区分	指定席	高年者席	持込み端末利用席(Wi-Fi 席)	拡大読書器利用席	インターネット用パソコン利用席	予約		リクエスト
						図書・雑誌 ＡＶ資料	電子書籍	
利用件数	4,311	104	2,403	3	854	154,208	7,179	7,086

草加市の子ども読書活動推進計画（平成30年度～令和5年度）の概要について

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境の整備を推進していくことは極めて重要です。草加市では、各主体が個別に事業を進めるのではなく、子どもの読書活動に関する施策を体系化し、総合的かつ計画的に推進するため、当該計画を策定しました。



目標とする指標		(H29)	(R5)
① 読書が「好き」「どちらかと言えば好き」の回答率	子ども：82%	→	90%
	保護者：38%	→	41%
② 1か月に読む本が「0冊」の回答率（不読率）	子ども：15%	→	10%
	保護者：43%	→	33%
③ 「読んでよかった本がある」の回答率	子ども：63%	→	70%

【令和2年度実施事業『ビブリオバトル・草加の陣』の概要】

1 目 的

市内の小学生・中学生の参加により、感動した本や素晴らしいと実感した本を互いに薦め合い、読書の楽しさを啓発し合うビブリオバトルを実施し、子どもたちの発表力を高め合いながら読書活動の推進を図りました。

2 主 催

図書館・文化を見守る会、草加市立中央図書館

3 開 催 日 時

令和3年1月28日(木) 午後3時30分から午後4時30分まで
(撮影期間：令和2年12月10日から令和3年1月15日まで)

4 対 象

- (1) 小 学 校 中 学 年 の 部：小学校3・4年生を対象
- (2) 小学校高学年・中学生の部：小学校5・6年生及び中学生を対象

5 発 表 者

令和2年度の草加っ子生き生きプラン「読書活動推進プラン」研究委嘱校
花栗南小、小山小、花栗中、新里小、両新田小、両新田中 計6校の児童・生徒10人

6 実 施 方 法

コロナ禍のため、中央図書館に一同に会して実施するイベント形式から変更し、出場6校の児童・生徒10人の発表を事前撮影し、中央図書館が編集した映像を、指導課主催の「草加市子ども読書活動推進研修会」に参加する教員が事前に視聴及び「一番読みたくなった本」に投票した上で、研修会当日にチャンプ本を決定しました。

7 チャンプ本

発表終了後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準として、出場校以外の小中学校教員（各校1票）が投票し、最も多く票を集めたものを「チャンプ本」としました。

(1) 小学校中学年の部

書 籍：黒魔女さんが通る！！Part1 ーチョコ、デビューするの巻ー
著 者：(作) 石崎 洋司 (絵) 藤田 香
出版社：株式会社講談社

(2) 小学校高学年・中学生の部

書 籍：きまぐれロボット
著 者：(作) 星 新一 (絵) 和田 誠
出版社：株式会社理論社